


分野	14	地域子育て支援	通番 29
施策	142	青少年の健全育成	
5年後の目標		地域に見守られて、青少年が社会性を備えた健全な大人として成人し、仲間とともにまちの未来を担っている。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	地域見守り活動の推進		会計	款	項	1,900,790	文化・スポーツ 振興室
			一般	10	4		
事業の概要							
子どもの健やかな成長と発達をめざす地域の育成組織が、相互に連携を深め、子どもを守り育てる活動を支援し、明るく住みよいまちづくりを推進します。							

平成30年度の取組							
D (取組)	指標	—				単位	—
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
		目標	—	—	—	—	—
	—	実績	—	—	—		
<ul style="list-style-type: none"> ・校区ごとにパトロールや祭りを実施し、地域の見守りや交流を行いました。 ・たそがれコンサートを雨天のために長岡中学校で開催し、中高生に課外活動の場を提供するとともに、市民に青少年健全育成活動の啓発を行いました。 ・立命館中において「中学生とトーク」を実施し、地域の大人と中学生が交流する場を創り、互いの考えを理解し合う取り組みを行いました。平成30年度で5回目となり、市立・私立を含めた市内の全中学校での実施となりました。 ・7月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」および11月の「子ども・若者育成支援強調月間」に懸垂幕やのぼりを掲出し、青少年健全育成の啓発活動を実施しました。 					中学生とトーク 		

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成30年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		—	—		—
C (評価)	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「中学生トーク」を開催し、地域の大人と子どもが膝を突き合わせて互いの考えを伝えあう場を設けました。直にやり取りをすることで、大人は子どもの考えていることを知る機会になり、見守られる側の子どもたちにとっては「親以外に地域の大人が自分たちを見守ってくれている」ということを知る機会となり、地域の仲間として関係を深めることにつながりました。 ・小学校ごとに校区まつりを開催しました。花火や吹奏楽など、校区ごとに工夫が凝らされており、地域の大人たちが子どもたちとふれあい、つながりを深める良い機会になりました。 	
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA活動との連携など新たな担い手も増えていますが、今後も取り組みを継続するために、ボランティア活動の新たな担い手を見つけ、育てることが必要です。 ・地域の大人と子どもが時間を共有し、お互いの考えを知り、つながりを深める機会作りが必要です。 			

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	方向性
	1: 計画通りに進めることが適当 対応策等 <ul style="list-style-type: none"> ・自治会等の地域組織と連携し、「地域の子どもは地域で育てる」という気運を高めつつ、住民自らの手で地域活動が継続できるよう支援します。 ・地域の活動に子どもも巻き込みながら、大人と子どもが共に自らの地域に携わることができる機会作りが行われるよう支援します。